

音楽科学習指導に関する 基礎的・実践的研究

最終更新日：2016年8月9日

音楽教育講座
教授
木村 次宏

キーワード

・教材研究 ・指導法 ・現代的課題

研究シーズの説明（私は、このような研究に取り組んでいます。）

21世紀に入って、高度情報化・グローバル化が急激に進み、我々を取り巻く社会の変化はますます加速化しています。学校現場においても、このような新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ、あらゆる場面の活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会（いわゆる“知識基盤社会”）の変化やそれに伴う子どもの生活や意識の変容に配慮することが求められています。平成25年3月に文部科学省国立教育政策研究所より「教育課程に関する基礎的研究（報告書5）」が出されましたが、そこでは社会の変化の主な動向等に注目しつつ、今後求められる資質や能力を「21世紀型能力（21世紀を生き抜く力をもった市民としての日本人に求められる能力）」として、1)中核に一人ひとりが自ら学び判断し自分の考え方をもち、他者と話し合い、考えを比較吟味して統合し、よりよい解や新しい知識を創り出し、さらに次の問いを見つける力としての「思考力」、2)その思考力を支える言語・数・情報(ICT)を目的に応じて道具として使いこなすスキルとしての「基礎力」、3)そして思考力の使い方を方向づけ、日常生活や社会、環境の中に問題を見つけ出し、自分の知識を総動員して、自分やコミュニティ、社会にとって価値ある解を導くことができる「実践力」を位置づけ、21世紀を生き抜く力をもった市民である日本人を育成し、自立、協働、創造を軸とした生涯学習社会の実現を目指すことが提言され、知と心身の発達を統合した学力としてこれからの社会の中でどのように働かせていくのかについて、今後さらに具体的な議論が進められていきます。

音楽科は、他教科と比べて非常に授業担当時間数は少ないですが、子どもたちが社会生活を営む上で必要とされる知識・技能・態度を身に付けるとともに、豊かな人間性をもち感性を働かせ、生活を明るく潤いのあるものにし、社会に主体的に参加するために不可欠な教科です。つまり学校での多様な音楽活動を通して豊かな感性を高め、音楽文化のよさや音楽的な感動を味わったり、言葉や音楽によって相互にコミュニケーションを図ったり、生活の中に生かしたりする活動を積み重ねることは、まさに今求められている21世紀型能力そのものでもあると思います。

私は現在、小学校及び中学校の先生方と連携・協力しながら、音楽科教育の課題改善に向けての基礎的・実践的な研究に取り組んでいます。特に最近では、音楽科の存在意義に関する理論的研究や音楽科の授業をより確かなものにするための教材研究、指導法の実践的研究等を進めています。

成果の応用可能性（私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。）

私の研究は、理論的・実践的研究の双方の側面から、現在の音楽科教育の在り方を検討するための資料として活用していただける内容であると考えます。

例えば、1)音楽科の存在意義を、音楽教育哲学の理論や現在の社会状況(環境)、学校教育における現代的課題等の様々な側面から考察する、2)学習指導要領のねらい、児童生徒の実態等に対応した授業づくりに取り組む、3)具体的な教材研究及び指導法を検討する等の際に、研究の成果を役立てることができます。また、最近では学生と共に教育現場に出かけ、小学校・中学校の授業をはじめ、入学式や卒業式、また学習発表会での音楽活動の指導支援等をさせていただく機会も年々増えております。そのことを通して、教育現場の実際(現状や課題)について多くを学ばせていただいております。

これから本学においても、教員養成大学としての特性を生かして、大学と学校現場、さらに教育委員会等との有機的な連携の推進を図り、教員養成から現職教員の研修までを含んだ「実践知」習得を基盤とした教育支援体制を構築していくことが今後一層求められるところです。特に授業時間数の少ない音楽科においては、様々な機会を通じて音楽科の必要性を実感をもって社会や学校現場に主張できるようにすることが必要です。ぜひこれからも教育現場との有意義な連携を通じた研究を推進していきたいと思っております。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・福岡地区小学校音楽教育実践交流会(福岡教育大学・福岡地区小学校音楽教育研究会の共同開催)
共同研究者 平成25年度～26年度
- ・意欲を高める中学校音楽 福岡市教育センター 講師 平成26年度
- ・福岡市教育センターG研及び研究発表会 共同研究者 福岡市教育センター ～平成26年度
- ・津屋崎中学校コミュニティスクールアクションプラン運営協議会 推進委員 ～平成26年度
- ・宗像地区等の小学校及び中学校での歌唱・合唱指導の支援(コーディネート) ～平成28年度
- ・実技教育支援コーディネーターの養成と配置効果の科学的検証(宗像地区との共同プロジェクト)
文部科学省概算要求特別経費プロジェクト 共同研究者 平成23年度～25年度